

## 平成16年台風23号被災者アンケート調査票の集計

平成17年8月末に「全壊（530件）」及び「大規模半壊（1104件）」の被災認定を受けた方全員にアンケート調査を実施

送付1634件中935件の回答（回収率57.2%）

### 台風被害の状況についてお尋ねします。

問1 被害状況をお伺いします。（919件）

当時、市又は町によって判定された被害認定結果を教えてください。

1. 全壊	237 (25.8%)
2. 大規模半壊	682 (74.2%)
※ 無回答 (16)	

問2 被災された住宅の居住形態についてお伺いします。（935件）

次の中から、1つ選んでください。

1. 持家（自己所有）	733 (78.4%)	全壊 100	大規模半壊 625	不明 8
2. 借家	202 (21.6%)	全壊 137	大規模半壊 57	不明 8

### 復興の様子についてお尋ねします。

問3 持家の方にお伺いします。（731件）

現在の生活の様子を次の中から、1つ選んでください。

1. 被災前と同じ住居で生活	690 (94.4%)
2. 自宅が未改築(未補修)のため、一時的に借家で生活	13 (1.8%)
3. 借家で生活(将来も)	1 (0.1%)
4. その他( )	27 (3.7%)
※無回答 (2)	

問4 持家の方にお伺いします。（724件）

住宅の再建又は補修の考え、予定を次の中から、1つ選んでください。

1. 再建(購入)した	29 (4.0%)
2. 再建(購入)中	14 (1.9%)
3. 再建(購入)予定	17 (2.3%)
4. 補修した	472 (65.2%)
5. 補修中	119 (16.4%)
6. 補修予定	45 (6.2%)
7. 再建又は補修の予定なし	28 (3.9%)
(理由：資金がない。生活に支障がない)	
※無回答 (9)	

問5 持家の方にお伺いします。(666件)

再建又は補修のために要した又は予定されている金額について、よろしければ概算額を教えてください。

50万円以下	7 (1.0%)
～100万円	24 (3.6%)
～200万円	120 (18.0%)
～300万円	154 (23.1%)
～400万円	83 (12.5%)
～500万円	84 (12.6%)
～1000万円	130 (19.5%)
1000万円～	64 (9.6%)

※無回答(67)

※最高額5000万円

問6 借家の方にお伺いします。(200件)

現在の生活の様子を次の中から、1つ選んでください。

1. 被災前と同じ借家で生活	109 (54.5%)
2. 借家が未改築(未補修)のため、一時的(改修中)に別の借家で生活	3 (1.5%)
3. 被災を契機に別の借家に移り生活	53 (26.5%)
4. その他	35 (17.5%)
※無回答(2)	

問7 借家の方にお伺いします。(186件)

借家の補修状況について次の中から、1つ選んでください。

1. 持主(大家)により補修が行われた。	115 (61.8%)
2. 借主が補修を行った。	16 (8.6%)
3. 持主(大家)と借主とが折半で補修を行った。	6 (3.2%)
4. 補修は行われていない。	32 (17.2%)
5. その他(取壊し等 )	17 (9.1%)
※無回答(16)	

問8 以下の設問については、持家・借家両方の方にお伺いします。(828件)

多くの生活用品も買替えされたと思いますが、その金額についてお伺いします。よろしければ概算額を教えてください。(被災によらない買替えは除いてください。)

50万円以下	171 (20.7%)
～100万円	182 (22.0%)
～200万円	229 (27.7%)
～300万円	116 (14.0%)
～400万円	41 (5.0%)
～500万円	42 (5.1%)
～1000万円	38 (4.6%)
1000万円～	9 (1.1%)

※無回答(107)

※最高額2600万円

問9 復興資金の確保先についてお伺いします。「問4～問8」でご記入いただいた資金はどこから調達され(予定も含む。)ましたか。該当するものはすべて選んでください。(935件)

1. 預貯金	648 (69.3%)
2. 親又は子の支援(借入れ含む。)	169 (18.1%)
3. 親戚の支援(借入れ含む。)	230 (24.6%)
4. 金融機関からの借入れ	221 (23.6%)
5. 被災者生活再建支援金	472 (50.5%)
6. 義援金、見舞金	688 (73.6%)
7. その他(主に保険)	191 (20.4%)

問10 復興に当たっては、誰が支えになりましたか。次の中から、3つ以内で選んでください。(935件)

1. 家族	672 (71.9%)
2. 別居の親	76 (8.1%)
3. 別居の子	242 (25.9%)
4. 親戚	620 (66.3%)
5. 友人	265 (28.3%)
6. 民生委員	15 (1.6%)
7. 地域の人(近所の方、区長等)	168 (18.0%)
8. ボランティア	230 (24.6%)
9. その他	40 (4.3%)

問 11 精神的な面も含めて、ご家庭の全体的な復興度合いをお伺いします。次の中から、1つ選んでください。(910件)

- |                                     |             |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. 被災前の状態又はそれにほぼ近い状態 (80%~100%)     | 354 (38.9%) |
| 2. 十分とはいえないが落ち着きをとりもどしている (60%~80%) | 423 (46.5%) |
| 3. 概ね半分程度で復興はこれから (40%~60%)         | 88 (9.7%)   |
| 4. まったく復興できていない (20%~40%)           | 28 (3.1%)   |
| 5. 復興の目処が立たない (20%未満)               | 8 (0.9%)    |
| 6. その他 ( )                          | 9 (1.0%)    |
| ※無回答 (25)                           |             |

問 12 「問 11」で十分に復興できていないと考える理由は何ですか。

(理由)  
※別紙に記載

**被災者生活再建支援制度の適用等についてお尋ねします。**

問 13 持家の方にお伺いします。(697件)

被災者生活再建制度では住宅補修等の経費への支援が受けられますが、この制度の支給要件と申請の状況について、次の中から1つ選んでください。

- |                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 支給要件に該当し、申請した。           | 417 (59.8%) |
| 2. 支給要件に該当するが、まだ申請していない。    | 78 (11.2%)  |
| 3. 支給要件に該当するが、申請するつもりはない。   | 30 (4.3%)   |
| 4. 市又は町に相談したが、支給要件に該当しなかった。 | 108 (15.5%) |
| 5. 自己判断の結果、支給要件に該当しなかった。    | 53 (7.6%)   |
| 6. 支援制度を知らない                | 11 (1.6%)   |
| ※無回答 (36)                   |             |

あなたのことについてお尋ねします。

問14 あなたの年齢についてお伺いします。(928件)

1.	19歳以下	0 (0%)
2.	20歳～29歳	27 (2.9%)
3.	30歳～39歳	71 (7.7%)
4.	40歳～49歳	122 (13.1%)
5.	50歳～59歳	238 (25.6%)
6.	60歳～69歳	239 (25.8%)
7.	70歳～79歳	179 (19.3%)
8.	80歳以上	52 (5.6%)

※無回答(7)

問15 あなたの性別についてお伺いします。(928件)

1.	男	648 (69.8%)
2.	女	280 (30.2%)

※無回答(7)

問16 同居されているご家族の人数(ご自身を含め)についてお伺いします。(924)

1.	1人	144 (15.6%)
2.	2人	324 (35.1%)
3.	3人	185 (20.0%)
4.	4人	115 (12.4%)
5.	5人	76 (8.2%)
6.	6人以上	80 (8.7%)

※無回答(11)

問17 あなたは被災時にどちらにお住まいでしたか。地区名をご記入ください。

\_\_\_\_\_ 地区(三江とか国府とか寺坂とか)

※別紙に記載

災害への思い、国・県・市が行っている災害対策についてなど  
何でもけっこうです。自由にお書きください。

例) 現在、何が一番お困りですか。

※別紙に記載

お忙しい中、ご協力誠にありがとうございました。

※恐れ入りますが、9月15日までに返送いただきますようお願いいたします。

問 12 「問 11」で十分に復興できていないと考える理由は何ですか。

(理由)

- ・大工さんが来てくれない
- ・住めるようになったが、2Fの荷物が片付かない
- ・資金が足りない
- ・カビの匂いがとれない
- ・家が古すぎる
- ・一部しか補修できていない
- ・疲れが溜まっている
- ・台風が心配で押入れに何も入れていない
- ・家が広すぎて一部しか補修できていない
- ・次の水害が心配
- ・将来が不安
- ・思い出の品は元には戻らない
- ・生活していて、物がないと気がつき買いに走る
- ・家具類、生活調度品の購入意欲が沸かない
- ・精神面のダメージが大きく、台風が来る度に不安
- ・下水工事と一緒にと考えているため補修が出来ていない
- ・河川工事の進捗状況が進んでいない
- ・農業が復旧できていない
- ・季節に必要なものを次々に買い足していて相当な出費が嵩む
- ・今年も浸水の可能性があるため、あえて直さない
- ・台風のショックでうつ病状態
- ・湿気が多くカビ、虫の発生が多い
- ・裏山が土砂崩れで避難勧告が出たまま
- ・床下の泥がとれていないところがある
- ・車を買えない
- ・被災以来体調を崩している
- ・高齢のため年金だけでは借金の返済が難しい
- ・家族が神経質になり、家族の仲がうまくいかなかった
- ・近隣との付き合いが減った
- ・住む場所を変ったので、近所に知り合いがない
- ・家族同様にしていたペットが亡くなったため
- ・時がたっていないため
- ・被災以降、大工さん等のレベルが下がっている
- ・離れ、農業倉庫に手がつけられていない
- ・思い出の品等お金では買えないものの損失は精神的に滅入る
- ・家族の健康がすぐれない

- ・自営業用の機材がダメになり収入の目処が立たない
- ・国からの支援が少なくて安心できない
- ・貯金が底をついた
- ・堤防の工事が完成して安心できないと土地を離れることも考える
- ・後継者がいないこと
- ・台風という言葉に子ども達が怯える
- ・支援制度に僅かな収入のオーバーでお金がもらえない。
- ・復興にお金を費やし、老後が心配
- ・円山川の復旧工事に不安を感じている。
- ・町営住宅に住んでいるが以前と比べ不便
- ・水害で失った物を買うための資金を考えると悔しい。
- ・引越しのため近所付き合いがうまくいかない。
- ・台風後に体調をくずしたまま
- ・自営業の再開ができず生活の目処が立たない
- ・義援金をはじめ多くの支援に感謝している。
- ・土砂災害の危険区域となっているため不安である。
- ・農業施設が復旧できていない
- ・大家さんが直してくれない
- ・生活費で精一杯で修繕にお金を回せない。

※多数の意見があったもの

- ・直したいが資金が足りない。
- ・借入金の返済
- ・河川工事が完成しないとまた水害に遭うため、本格的な修理ができない
- ・支援金の年収要件（800万円）を撤廃して欲しい
- ・カビの発生で困っている。
- ・大工さんの順番がなかなか来ない
- ・最低限の家財の購入でとりあえず良しとしている。
- ・将来の生活が不安
- ・台風の発生や雨で不安になる。
- ・精神的な傷が癒えない

※精神的ダメージ、台風が来るたび不安感がある。

問12の回答370件中97件

自由記載 災害への想い、国・県・市が行っている災害対策についてなど何でもけっこうです。自由にお書きください。

(例：現在、何が一番お困りですか)

- ・ 宅地の地盤沈下。
- ・ 水害で失った機具等買い揃えることができない。
- ・ 雨が降るたびまた浸水するのではないかという不安
- ・ 家を補修したが、今年は大丈夫なのか。
- ・ 家のかび臭さがとれない。
- ・ 堤防の工事がまだ出来ていなくて不安。
- ・ ネズミが沢山いて食べ物の管理が大変である。
- ・ アンケート後の処置を回答して欲しい。
- ・ リフォームしたいがお金がない。
- ・ 被災者生活再建支援金について基準が厳しすぎる。
- ・ 内水氾濫の防止。
- ・ 避難時に高齢者の単独避難は危険なので隣保単位での避難を。
- ・ 避難誘導等について一定の方向性を出して欲しい。
- ・ ボランティアに感謝している。
- ・ 市の窓口の方々に親切にさせていただいて感謝している。
- ・ 人手がないことに困っている。
- ・ 国・県・市より支援してもらって感謝している。
- ・ 堤防より水門の方を先にとの要望が入れられず残念。
- ・ 台風の度に神経質になる。
- ・ 両隣は全壊、自宅は大規模半壊で判定に不満。
- ・ 次の台風が怖くて1階に物が置けない。
- ・ 水害対策はこれで大丈夫か
- ・ 豊高横水路の改善対策を考えて欲しい。
- ・ 緊急時はサイレンを鳴らして欲しい。
- ・ 無線が水没して不安であった。
- ・ 川底の土を早く取って欲しい。
- ・ 復旧に要した費用のローン返済が大変。
- ・ 畳にかびが生えて困っている。
- ・ 多くの人に支援してもらって感謝している。
- ・ アメリカのハリケーン被害で豊岡も何かしなければと思う。
- ・ 雨が降るたびにがけ崩れが心配。
- ・ 何の予告もなくアツという間に水が来たので無線で状況を知らせて欲しかった。
- ・ 水害により地価が下落して困る。
- ・ 堤防の改修が5年後ということだが、もっと早くから進めて欲しい。



- ・避難しようと思ったときは既に道路が冠水していた。
- ・台風14号の時は地区公民館が避難所となっていたが遠いのもっと近くの避難所に変更してもらえないか。
- ・すべてに困っているが、ホームヘルパーさんに助けてもらっている。
- ・円山川の上流中流域で治水対策が行われると反比例して下流域の被害が増大する。行政にあっては均衡の取れた地域づくりを特に望む。
- ・水道が止まらずに出てくれていたのが一番助かった。
- ・全壊の人だけでなく大規模半壊の人にも生活用品の支援をして欲しい。
- ・地区が遊水地指定なのでこれからも水害の恐れがある。何か対策をして欲しい。
- ・市長様、職員の皆様には一生懸命して頂いて感謝しています。
- ・防災無線がとても役に立ちました。
- ・同じ災害にあっても助成金や義援金の額に差があるのはどうかと思います。
- ・但東町のボランティアは少し遅かったと思いますが助かりました。
- ・アンケートに回答しても個々には対応してもらえない。
- ・台風情報（増水等）を早く知らせて欲しい。
- ・地区への水が何処から流れてきたのかお尋ねしたい。
- ・避難所の豊高までは遠く設備も整っていない。
- ・相談の際その都度窓口担当者が変わり（解釈が異なり）困惑した。
- ・他国への支援も必要だが税金を払っている我々が一番に優先されるべき。
- ・この地区は他の地域を守るための遊水地とされているように思われる。
- ・県の対応の悪さ。
- ・河川の決壊を防ぐため堤防を道路（舗装）にすべき。
- ・被災認定に不公平さを感じる。
- ・避難するところが分からない。
- ・義援金、見舞金に他地区との不公平があるように思える。
- ・地場産業のカバン産業には支援があるそうですが、農業面への支援は何かないのですか。
- ・避難時に市職員はただおられるだけで現状を大声で知らせるなどなかった。
- ・防災行政無線でキメ細かい情報が流してもらえたら生活用品等の被害も少なかった。
- ・自己防衛以外なにもなし。行政を当てにしてはいけない。何もしてくれないのが行政で、自分を守るのは自分自身であり家族のみ。
- ・稲葉川の災害対策が頼りなく安心できない。
- ・決壊した場所を見たがあまりにも立派過ぎる。これでは復旧箇所の上下流が切れる可能性がある。
- ・地区の被害は但馬空港、豊岡病院の為、山を切り開いたのが原因ではないか
- ・八代川水門の近くに街灯の設置をお願いしたい。
- ・行政の方々は災害対策は一生懸命されておられると思いますので、あとは各

- 自が災害が起きればどうするかを考えていかなければならないと思います。
- ・町営住宅（城崎）を1年間無料で借りられて感謝している。
  - ・他地区との対応の差にあまり良い気持ちがしなかった。
  - ・堤防の修理箇所について所々亀裂が入っているところがある。コンクリートブロックを敷いてあるところとしていないところがあり心配の種は尽きない。
  - ・人はタフでなければ生きていけない。そして助け合い。
  - ・地区に伊勢湾台風以前から堤防というものがない。洪水に対して何ら対策が行われていない。
  - ・小野川ショートカットの犠牲。
  - ・河川は下流から改修すべきものだが、円山川は逆になっている。
  - ・円山大橋～豊岡病院線を高架化し空港まで避難できるようにできないか。
  - ・忙しくて相談に行けないので、一軒一軒自宅面談をして状況把握をして欲しい。
  - ・避難場所が遠く高齢者には負担になる。
  - ・市の被災の状況把握が不十分である。地区への水は何処から来たのか納得できない。
  - ・台風23号災害も地球温暖化の影響とされます。環境整備を個々に考えるようもっと力を入れて欲しい。
  - ・区を挙げて用地提供しているが何の手立てもされていない。
  - ・アンケート結果の公表を願いたい。
  - ・災害に遭った人でないと本当に大切な対策は見えてこないと思う。
  - ・国や県、市はもっと分かりやすく情報提供をする必要があると思います。
  - ・自然災害は誰のせいでもありませんが、災害後の役所の対応は一部の親切な方を除いてはとても冷たいものです。もっと改善すべきです。
  - ・旧豊岡市に比べ旧日高町は支援その他で少し減だったと思います。
  - ・今まではポンプが稼動してくれていると信じていましたが、水害後は水路が一杯になると不安です。
  - ・まず築堤を！次に新しい遊水地を作る。
  - ・今回の災害について市からの援助が全くなかった。
  - ・地区を遊水地にするな。生き物より人間の生活を守れ。その上で遊水地が必要ならば流域全体で考えろ。
  - ・この度のような災害は、各家庭レベルでの対策を超えているため、国の責任で防災対策に努めてもらいたい。
  - ・無堤地箇所には築堤するとの発表があったが、具体的な築堤計画の説明を願いたい。
  - ・台風23号災害時、ボートで見回りに何度か来られた時に何か飲み物を用意して欲しかった。
  - ・内水対策のため戸牧川の流入量の削減と豊唾学校付近にゴミ防止柵の設置を望みます。

- ・町長～区長等の対応に不満。
- ・再建の為の融資なのに住宅ローンや自動車ローンがあるために貸してもらえず、もっと柔軟な対応を望みたい。
- ・災害対策は現在生活している住居のみだが、離れや倉庫なども被害を受けておりもっと現実に合わせた対応をして欲しい。
- ・話し相手、相談相手がない。
- ・災害ゴミの処理が未だ出来ていない。
- ・日高では見舞金が少なかったと思う。
- ・借家で大規模半壊では支援金がもらえないので、せめて生活資金をお願いしたい。
- ・住宅再建共済制度に入りたいのに兵庫県のHPでPRされていない。
- ・鳥居橋の取り壊しを早くして欲しい。
- ・大規模半壊でもクーラーとか家財を認めて欲しい。
- ・支援物資を公民館へ取りに行っても車がないと重いものは運べず、沢山もらった人と貰っていない人が出た。公平に分配して欲しかった。
- ・年収によって義援金が区別されるなど、県の考え方にはいらだちを感じる。
- ・避難場所の充実（食料、毛布、水など）
- ・国、県、市の支援金は思いもよらなかったことで大変助かった。
- ・災害放送が停電と風雨で聞こえなかった。
- ・水害などによる寝たきり老人の避難対策。
- ・区長が被害のあることを町へ言っていなかったのも、ボランティア等の支援が受けられなかった。
- ・豊岡～港線の冠水時に孤立状態となる。
- ・ひのそ島の掘削工事の成果が見られないように感じる。
- ・住宅再建共済制度と被災者生活再建支援金の違いが分からない。
- ・車の移動できる車の避難場所を教えて欲しい。
- ・被災者生活再建支援制度の変更が多く、4回以上修正した。全国統一の書式をつくって欲しい。
- ・住宅の補修で以前より良くなった家が多く見受けられる。補修という観点からもっと厳しい調査が必要ではないか。
- ・南中の前の川の草刈をお願いしたい。台風時に川の流れが悪い。
- ・家主に補修の義務があるということだが、補修する能力がない場合に住んでいる者はどうしたら良いのか。
- ・被災時のニュースでは豊岡と出石ばかりで日高のことが取り上げられず、取り残された感じがした。
- ・工場勤務だったので、避難勧告や指示が伝わって来なかった。事業所にも災害情報を伝達して、従業員の安全の確保を図って欲しい。
- ・被災者生活復興資金の貸付を受けたが償還期間が5年では短すぎる。
- ・行政の無知、無策が被害を大きくしたと考えている。

- ・当地に住もうとするならば、行政に頼ることなく自ら自己防衛に努力することが肝要と考えている。
- ・お金では買えない大切な物を失って、取り戻せないのが残念です。
- ・被災後、住居を移り買い物に行くのが遠くなり不便です。
- ・災害に遭った時お互いに助け合える保険のようなものを作って欲しい。
- ・自然災害に強い町づくりをお願いしたい。
- ・台風が来る度に農機、車を高所へ避難させなければならない。
- ・復興資金の借り入れでは、ローン等と抱えている本当に必要な人が借り入れられない矛盾があり、弱者が切り捨てられた思いです。
- ・以前に比べ家賃が高くなった。
- ・住居よりも自営の機械に大きくダメージを受けた。
- ・災害対策についてはよくやってもらっている。
- ・堤防の決壊ではなく内水で浸水したが、その後対策が取られていないように思える。
- ・被害には遭いましたが、共済金のお陰で助かりました。
- ・水害時、区長以下役員とトラブルになり地区を出ることになった。
- ・復旧工事で水路、農地、里道がひどい状態になっている。
- ・防災無線の調子が悪い。全戸調査すべきだ。
- ・ペットを飼っていて避難所に行くのがためらわれる。
- ・義援金の通知が来なくて、近所の方に聞いて貰いに行った。もれることなく通知をお願いしたい。
- ・合併によって市職員の対応が悪くなったのではないのでしょうか。
- ・防災無線での市長の言葉に力づけられました。
- ・各集落の自主防災組織の充実。
- ・但馬空港からの物資の運搬体制の充実。
- ・小島岸壁により海上輸送体制拠点の整備。
- ・山々の整備を但馬全体で行うべきだと思います。
- ・河川整備は下流が済んでから上流を行ってください。そうしないと、豊岡市内が被害に遭います。
- ・自然との共生は人間の勝手に、自然はそんなことは希望していない。共生ではなく、共存として考えていくべきではないか。
- ・水の配布は10ℓ入りではなくペットボトルでお願いしたい。
- ・八代樋門の閉め方に問題があり、度々被害に遭っている。
- ・災害ゴミの処分について、期間が短くて間に合わなかった。
- ・堤防改修だけでは不十分である。治水ダムを含めた改修計画をして欲しい。
- ・災害対策について行政、市民ともに定期的に（最低限月1回位は）話し合いをする機会をもつべき。
- ・低所得者の支援制度の充実を望む。
- ・避難場所の支給品など市街地と差がありすぎる。

- ・市議会の議事録の中の市当局の答弁で国家サイドの総合的な対策の中でやるというものがあつたが、当事者である市がもっと積極的に取組むべきだ。
- ・小坂山側の堤防に対する補強状況が不十分。片間樋門の改修を。
- ・住民票がないのに手厚い支援をしてもらって感謝している。
- ・固定資産の評価を見直して下げて欲しい。
- ・避難所で他の区では役員さんが手厚い世話をされていて、羨ましかった。
- ・日高は豊岡に比べ復興が遅れているように感じられる。
- ・農業施設にリース事業が活用できれば良いのだが。
- ・役所に頼りすぎても出来ることに限りがあると思うので、一人一人が防災意識を持つことも大切だと思う。
- ・立野右岸堤防決壊場所の車の乗り入れを禁止して欲しい。
- ・伊勢湾台風の時は支援制度が無かったが今回は確立していて有難かった。
- ・被害地区および被災世帯への行政の対応が悪く憤りを感じた。
- ・消防団の方に救助していただき感謝しています。

※多数の意見があつたもの

- ・堤防の対策をしっかりとって欲しい。
- ・今回の堤防の工事で安全が確保できるのか不安
- ・無堤地帯なので早く堤防を作って欲しい。
- ・台風がくるたびに水害のことが心配になる。
- ・台風と聞くたびに去年のことが思い出され辛い。
- ・内水氾濫対策をしっかりとって欲しい。
- ・生活再建支援金が所得制限のため貰えない。
- ・生活再建支援制度で同居している場合不利になるのが納得できない。
- ・京都府と同じように所得に関係なく支給して欲しい。
- ・ボランティアの方々の協力を感謝している。
- ・生活再建支援金がとても役に立った。
- ・義援金、見舞金を頂いてとても役に立った。
- ・国・県・市から支援してもらって助かった。
- ・補修しようにも資金が足りない。
- ・川底が土で上がっていて不安
- ・避難所へ行っていたら荷物を2階に上げられないし、水の引き際に水を流すことも出来ないのだから自宅に留まるつもりです。
- ・生活費に困っている。
- ・被害認定に不満

## 被災者復興状況

### アンケート

送付 1,634 件中 935 件回収 (回収率 57.2%)

アンケート項目のうち、[問 4 住宅(持家)の再建・補修] 及び [問11 家庭の全体的な復興度合い] についてのみ下記のとおり集計した。

「台風 23 号被災者アンケート」(問 11) で、家庭の全体的な復興度合いを尋ねたところ、

①被災前の状態又はそれにほぼ近い状態 (80%~100%) 354 件 (38.9%)

②十分とはいえないが落ち着きを取り戻している (60%~80%) 423 件 (46.5%)

と回答が得られ、両方で 777 件 (85.4%) となっている。

一方、復興はまだと答えた人は、

③おおむね半分程度で復興はこれから (40%~60%) 88 件 (9.7%)

④まったく復興できていない (20%~40%) 28 件 (3.1%)

⑤復興の目処が立たない (20%未満) 8 件 (0.9%)

との回答があり、合わせて 124 件 (13.7%) となっている。

上記アンケート結果のうち、「持ち家」の方の回答は、

① 267 件、② 342 件、③ 75 件、④ 23 件、⑤ 6 件、計 713 件であり、

①②合わせて 609 件 (85.4%) の方が、「十分とはいえないもののほぼ元の生活に戻った」状態といえます。

「復興はまだ」という方は、104 件 (14.6%) ありますが、このうちすでに 16 件 (2.2%) が「補修済」であり、そのほかに 9 件が「再建・購入中」、9 件が「再建・購入予定」、37 件が「補修中」、24 件が「補修予定」と回答されており、計 79 件 (11.1%) が補修等の見込みが立っているものと考えます。

なお、「復興はまだ」と答えた人のうち「再建又は補修の予定なし」と 8 件 (1.1%) の方が回答されていますが、その理由は、「資金が無い」というものです。

「復興はまだ」という方の理由を聞きますと、①体調が戻らない、台風シーズンが不安、などの精神的な理由、②大工が忙しく、なかなか補修にかかってもらえないので、延び延びになっている、③一応の修理はしたが、全体の補修までは手が付けられない、④補修する金が無い、といった理由が挙がっています。

一方「借家」の方の回答は、

① 87 件、② 81 件、③ 13 件、④ 5 件、⑤ 2 件、計 188 件であり、

①②合わせて 168 件 (89.4%) の方が、「十分とはいえないもののほぼ元の生活に戻った」状態といえます。

「復興はまだ」という方は、20 件 (10.6%) ありますが、その理由は、

ア、家主が補修をしない。6 件 (3.2%)

イ、生活用品の購入等の資金が無い。5 件 (2.6%)

ウ、精神的に不安。4 件 (2.1%)

エ、転居で不安定な状態。2 件 (1.1%)

オ、補修中など。3 件 (1.6%)

なお、被災者生活再建制度について、「支給要件に該当するが、まだ申請していない」という方が 78 件あるので、今後申請手続きについて指導し、その利用の PR に努めていく。

# 被災者復興状況

## 持家

十分とはいえないもののほぼ元の生活に戻った。	件	%	件	%
①被災前の状態又はそれにほぼ近い状態(80%~100%)	267	37.4	609	85.4
②十分とはいえないが落ち着きを取り戻している(60%~80%)	342	48.0		

復興はこれから	件	%	件	%
③おおむね半分程度で復興はこれから(40%~60%)	75	10.5	104	14.6
④まったく復興できていない(20%~40%)	23	3.2		
⑤復興の目処が立たない(20%未満)	6	0.9		

### ※③④⑤の理由

- ・体調が戻らない。台風シーズンが不安など精神的な理由
- ・大工が忙しく、なかなか補修にかかってもらえないので延び延びになっている。
- ・一応の修理はしたが、全体の補修までは手が付けられない。
- ・補修する金がない。

合計	713	100.0
----	-----	-------

	件	%	件	%
①再建(購入)した	0	0.0		
④補修した	16	2.2		
②再建(購入)中	9	1.3	79	11.1
③再建(購入)予定	9	1.3		
⑤補修中	37	5.2		
⑥補修予定	24	3.3		
⑦再建又は補修の予定なし	8	1.1		
⑧未回答	1	0.2		
計	104	14.6		

## 借家

十分とはいえないもののほぼ元の生活に戻った。	件	%	件	%
①被災前の状態又はそれにほぼ近い状態(80%~100%)	87	46.3	168	89.4
②十分とはいえないが落ち着きを取り戻している(60%~80%)	81	43.1		

復興はこれから	件	%	件	%
③おおむね半分程度で復興はこれから(40%~60%)	13	6.9	20	10.6
④まったく復興できていない(20%~40%)	5	2.6		
⑤復興の目処が立たない(20%未満)	2	1.1		

合計	188	100.0
----	-----	-------

	件	%
家主が補修をしない	6	3.2
イ生活用品の購入等の資金がない	5	2.6
ウ精神的に不安定	4	2.1
エ転居で不安定な状態	2	1.1
オ補修中など	3	1.6
計	20	10.6